




電子体温計 DT-701 取扱説明書 / 品質保証書

この度は、電子体温計 DT-701 をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。なお、本書をお読みいただきました後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

 = 取扱説明書を参照

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した内容はあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	誤った取扱いをすると人が傷害を受けたり物的損害*の発生が想定される内容を示しています。

* 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる損害を示します。

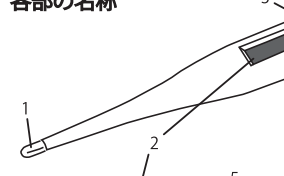
警告

- 本製品での測定結果を医師の診断に代えることはできません。測定結果による自己判断は危険です。必ず医師の指示に従ってください。
- 指定条件以外の環境・方法での使用はしないでください。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。感電、ショート、故障、発熱、火災の原因になります。
- 測定データの精度を確保するために、電磁干渉の強い環境（マイクロ波、高周波機器周辺など）では測定しないでください。
- 測温部先端を目を突かないようにしてください。失明の恐れがあります。
- 本製品に破損や故障がある場合はご使用にならないでください。
- 個人での分解・修理をしないでください。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。またお子様だけの使用はしないでください。
- お子様が電池キャップ等をいじったりなめたりして電池や電池キャップ等を飲み込まないように注意してください。電池や電池キャップ等を飲み込んだ場合、喉につまったり体調悪化の恐れがあります。
- 万一電池などを飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- 万一電池から液漏れした場合は、液には触れないでください。皮膚の炎症や失明に繋がります。
- 人以外の検温には使用しないでください。
- 本製品および電池を火中に投入しないでください。

注意

- 本製品はわき下専用の体温計です。それ以外の部位での測定はしないでください。正確に測定できない場合があります。
- 本製品は精密機器ですので、落下させたり、踏みつけたり、振動や衝撃を与えたりしないでください。
- 測定中は本製品の近くで携帯電話やコードレス電話を使用しないでください。
- 運動、食事、入浴などをした後は、30分程度室内で安静にしてから測定してください。
- 周囲の温度差が激しい場合は、室内に 30 分程度置いてからご使用ください。これにより、信頼性のある安定した測定結果が得られます。
- 人の体温に関する絶対的な標準値が存在しないため、発熱の有無の参照として、普段から平常時の体温を記録しておいてください。
- 特定の薬物治療を受けている場合は医師の指示に従ってください。
- 薬の服用をした場合、効果持続時間内は薬物の作用で体温が上昇 / 下降する可能性がありますので、測定を避けるようにしてください。
- 本製品は本書に記載された方法で保管してください。
- 本製品の材質（ABS、ステンレス）は、ISO 10993-5 および ISO 10993-10 の医療機器の生物学的安全性評価基準テストに合格しており、毒性、アレルギー、刺激反応が十分に低いことが確認されています。
- 火気の近くには絶対に置かないでください。変形や火災の恐れがあります。
- 本製品内部に液体や異物が入らないようにしてください。
- 熱湯消毒や揮発性の液体（シンナー等）でのお手入れはしないでください。
- 小さなお子様やペットが噛んだり、飲み込んだりする危険性がありますので、保管には十分ご注意ください。
- 電池を交換する際は、+・-を間違えないように挿入してください。
- 湿気、直射日光、温度の急激な変化、ホコリ等のある場所での使用、保管は避けてください。
- 電池が消耗し、電池消耗マークが表示された場合は、速やかに新しい電池（LR41）と交換してください。
- 電池はLR41をご使用ください。それ以外の物は故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 使用済みの電池はテープ等で絶縁してください。他の電池や金属と混ざると発熱、破裂、発火の原因になります。
- 使用済みの電池および製品は、お住まいの市区町村の指示に従って処分してください。
- 長期間使用しない場合は電池を本体から取り出してください。
- 電池はショートさせないでください。

各部の名称

	
1	測温部
2	表示部（ディスプレイ）
3	電源スイッチ
4	電池キャップ *電池交換の際に取り外す
5	電池消耗マーク *電池消耗を検知すると点灯
6	予測値マーク「 P 」 * 予測値を表示中に点灯
7	前回値マーク「 M 」 * 前回測定値表示中に点灯

付属品

ご使用する前に、次のものがそろっているかご確認ください。
万一、不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

- DT-701(本体)……………1 本
- お試用電池 LR41(本体装着)……………1 個
- 収納ケース…………… 1 個
- 取扱説明書 ………………本書（保証書・医療機器添付文書・EMC 技術資料）

お試用電池について

本製品には付属の電池が本体に装着されています。電池寿命は約 2 年ですが、付属電池はお試用のため、上記寿命より短い場合があります。

電池の取り出し方

①本体を裏返しにしてください。

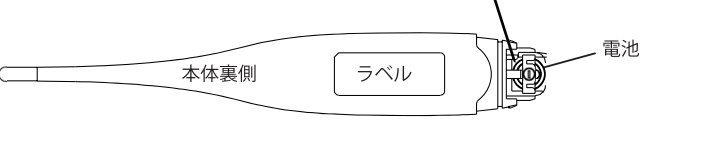


②電池キャップを引き外してください。



③下図のように先の細い棒を使用して、電池全体が見えるまで電池装着部（10mm）を引き出してください。

- ・電池全体が見えたら、それ以上引き出すのをやめてください。センサーの断線の原因となります。
- ・本体中身は優しく、ゆっくり引き出してください。
- ・基板には指が触れないようにしてください。



④電池を取り外してください。

※使用済みの取り外した電池はお住いの市区町村の指示に従って処分してください。



電池の取り付け方

①本体を裏返して電池の－（マイナス）面が見える向きで電池スペースに押し込んでください。

- ・電池装着時に「ピッ」と 1 回音が鳴って、しっかり固定されていることをご確認ください。

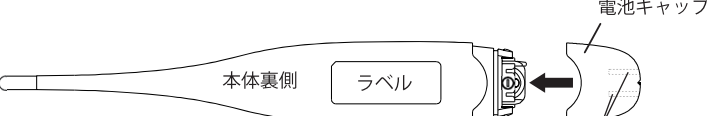


②電池装着部を元の位置に戻してください。（約 10mm 押し込みます。）



③電池キャップを取り付けてください。

- ・電池キャップ内側の突起が上面にある状態のまま取り付けてください。



注意

電池の交換時に電池や電池キャップをお子様の手の届くところに置かないでください。誤飲の恐れがあります。

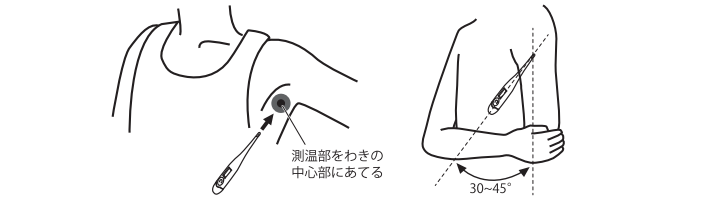
体温を正しく測るためには

【 検温前のご注意 】

- ・測る前に、わきの下の汗を拭き取ってください。
- ・体温計が冷えている場合、体温計を室温に十分なじませてから検温してください。

【 検温中のご注意 】

- ・わきの下のくぼみ中心部に体温計の先端の測温部を斜め下（30 ～ 45° ）から少し押し上げるようにして、わきをしっかりとしめてください。
- ・小さなお子様の場合は、腕の外側から優しく押さえて、体温計が動かないようお気を付けください。



【 こんな時は正しく測れません 】

- ・起床直後に、すぐに動き出した場合は、正しく測れないため、30 分以上あけてから検温してください。
- ・入浴、運動、飲食直後等は、体温が上がっていますので、30 分以上あけてから検温してください。
- ・汗をかいていると実際より、低い体温を示すことがあるため、汗を拭き取ってから検温してください。

体温の測りかた

【 予測検温（10 秒） 】

①体温計を収納ケースから取り出してください。
②電源スイッチを押してください。
・「ピッ」と音が鳴り、表示部が全点灯します。
・前回値が表示されます。（前回測定値表示中は「**M**」マークが表示されます。）

③「**[Lo]**」が表示されたら、わきの下へ挟んでください。
※外気温が 32℃を超えている場合は、測温部が温まり「**[Lo]**」が表示されることがあります。その場合は、測温部を水で冷やしてから再度検温してください。

④体温を測定します。「**[Lo]**」から「**[32.0]**」に表示が変わり、約 10 秒後「ピー、ピー…」と 9 回ブザーが鳴ると、予測検温が終了します。
・予測検温での予測値が表示されている時は、「**P**」マークが点灯します。

⑤電源スイッチを押して、検温結果の表示は消灯したら、収納ケースに入れてください。
※電源を切るには、電源スイッチを再度押してオフにするか、「**[Lo]**」表示のまま放置すると、約 3 分後にオートパワーオフ機能で電源が切れます。

【 実測検温 】（①～④は予測検温と同様）
そのまま検温を続けると、測定開始から約 1 分 20 秒後に実測検温に切り替わります。
・実測検温に切り変わると、「**P**」マークは消灯します。

⑥約 5 分 40 秒後「ピー、ピー…」と 9 回ブザーが鳴りますが、そのまま検温を続けていただき、約 10 分後の検温結果をご確認ください。（より正確に実測検温するためには約 10 分の検温を推奨します。）
・12 分 30 秒後に「ピッ」と音が鳴り、そのまま消灯します。
⑦電源スイッチを押して、検温結果の表示は消灯したら、収納ケースに入れてください。

【37.8℃を超えた場合のお知らせ】

予測値及び実測値が、37.8℃を超えた場合に、「ピピピピ」、「ピピピピ」と 12 回ブザーが鳴ります。
※検温値が 43℃以上の場合は、「**[Hi]**」が表示されます。

予測方式とは

通常、わきの下での検温には約 10 分間での測定が必要となります。その検温を実測検温と言ひ、本製品の予測検温は実測 10 分後の測定値を想定して約 10 秒間で測定者の温度上昇を分析し、演算することにより予測値として表示しています。

また、予測式体温計では、正しい測定方法で体温測定を行わなかった場合及び血行動態や体型などによっては、必ずしも予測精度が保証されない可能性があります。

お手入れ方法について

- ・測温部は、消毒用アルコールを含ませたガーゼ、布等で軽く拭き取ってください。
- ・本体は、水、ぬるま湯をしみ込ませしっかり絞った布または乾拭き等で水気を拭き取り、清掃後に収納ケースへ収め保管ください。（※測温部以外の本体を消毒用アルコールで拭き取ると変色する場合がありますので拭かないでください。）

こんな状態になったら / 故障かと思ったら

製品の状態	原因	対処方法
電源スイッチを押しても表示が出ない	電池が正しくセットされていますか？ <p>電池が消耗していませんか？</p>	「電池の取り出し・取り付け方」を参照してください。
「 [M] 」マークが出る	電池が消耗しています。	「電池の取り出し・取り付け方」を参照してください。
体温にばらつきが出る時がある	検温中に測温部がわきの下で上手く固定できず動いたりしていませんか？ <p>わきが汗などで濡れていませんか？ <p>入浴・運動後直後に検温していませんか？</p></p>	「体温を正しく測るためには」を参照してください。
測定中に「 [Lo] 」もしくは「 [Hi] 」の表示が出る	測定範囲外の告知表示です。 <p>31.9℃以下「[Lo]」表示 <p>43.0℃以上「[Hi]」表示</p></p>	正しい測定位置で再度検温してください。

仕様

医療機器分類	管理医療機器（クラスⅡ）
一般的名称	電子体温計
販売名	電子体温計 DT-701
医療機器認証番号	305AGBZX00026A01
測定方式	予測約 10 秒及び実測約 12 分 30 秒での検温
測温範囲	32.0℃～ 42.9℃ <p>31.9℃以下「Lo」、43.0℃以上「Hi」表示</p>
測温精度	±0.1℃（環境温度 23℃にて、恒温水槽で実測測定した場合）
温度表示	3 桁 0.1℃単位
電源電圧	DC1.5V（LR41）
電撃保護	内部電源機器  =BF 形装着部
電池寿命	約 2 年
防水性能	IP22
使用環境条件	温度：10℃～ 40℃ 湿度：30 ～ 85%RH
保管環境条件	温度：－20℃～ 60℃ 湿度：30 ～ 95%RH
サイズ	約幅 130mm 奥行き 19.5mm 高さ 10.8mm
質 量	約 10g（電池含む）

製造販売業者

外国製造業者：VEGA TECHNOLOGIES INC.（中華人民共和国）

製造販売業者



埼玉県さいたま市中央区上落合 5 丁目 1 7－1 S－4 タワー
TEL: 048-857-8026 FAX: 048-857-8041
WEB: https://icst.jp/ Email: info@icst.jp

<p>保証規定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当社製品が万一自然故障した場合は、保証規定にしたがい無償で対応いたします。 2. 次の場合は、保証期間内でも保証の対象とはなりません。 <ol style="list-style-type: none"> ①ご使用上の誤り（取扱説明書に記載のない操作等）により生じた故障。 ②不当な修理、改造、分解等をされた場合。 ③火災、天災、地震、落雷、異常電圧等による故障。 ④浸水、落下、泥、砂などにより生じた故障。 ⑤保管上の不備や、手入れの不備による故障。 ⑥保証書の添付のない場合。 ⑦故障の原因が製品以外の部分である場合。 ⑧電池などの消耗に起因する故障。 ⑨本書にお買い上げ年月日、お客様、販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。 3. 保証の対象となる部分は製品本体のみで、製品に記録されているデータおよび消耗品は保証の対象となりません。また、製品を交換される場合につきましても製品に記録されているデータが消去される場合がございます。あらかじめご了承ください。 4. 製品の使用または故障に起因する直接的および間接的な損害につきましては一切保証いたしません。 5. 保証書は本規定にて明示した期間、条件下での無償保証をお約束するものです。
<p style="text-align: center;">保証書【電子体温計 DT-701】</p> <p>この度は当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。万一通常のご使用において保証期間内に不具合が発生した場合は、保証規定にしたがって無償にて保証いたします。お問い合わせは販売店までご連絡願います。</p>
<p>ご購入日：</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>保証期間： ご購入日より 1 年間 ※製品の保証は日本国内のみ有効です。</p>
<p>お客様</p> <p>お客様名： ご住所：〒</p> <p>Tel:</p>
<p>販売店</p> <p>販売店名： ご住所：〒</p> <p>Tel:</p>
<p>製造販売業者：株式会社 ICST 埼玉県さいたま市中央区上落合 5 丁目 1 7－1 S－4 タワー</p> <p>※購入日および販売店の明記が無いものは無効となります。 2024 年 2 月制定（初版）</p>

【警告】

- お子様の手の届かない場所に保管して下さい。
- 【本体の先端を噛んだり、誤飲やけがの恐れがあります】

【禁忌・禁止】

- 人以外の検温には使用しないでください。
- 【ケガをするおそれがあります】
- 測定結果の自己判断や治療は危険ですので、医師の診断に従ってください。

【形状・構造及び原理等】

（概要）

患者の体温を測定するための測定装置である。本品は、表示ユニットとセンサー及びその他からなり、体温を検出し、ある電気特性（抵抗、電圧等）に変換するものである。このような電気特性は、電子回路内で処理した後、最高温度保持し、体温値としてデジタル表示される。



付属品：収納ケース
外形寸法：130mm×19.5mm×10.8mm
公差：±1mm
質量：10g（電池含む）
体に触れる部分の原材料
 測温部:SUS304
 ステンレススチール
 本体：ABS樹脂

（電氣的定格）

- 電源：DC1.5V（LR4×1個）
- 電池寿命：約2年
- 分類：内部電源機器、BF形装着部
- 水の浸入に対する保護の程度による分類：IP22

（原理）
本品は、腋下での検温を目的とした装置であり、測温部での温度変化を感温素子により電気量に変換し、集積回路にて演算処理を行い体温値を表示する。
検温開始10秒後に予測値を演算により表示し、その後一定時間経過後に実測表示に切り替え実測値を表示する。

（仕様）
・測温範囲：32.0～42.9℃
・温度精度：最大許容誤差±0.1℃
※標準室温 23℃にて、恒温水槽で実測測定した場合
・使用条件：周囲温度 10～40℃
 相対湿度 30～85%RH（結露なきこと）

【使用目的又は効果】
測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示すること。

【使用方法等】
①体温計を収納ケースから取り出し、電源スイッチを押します。
ピツと音が鳴り、表示部が全点灯します。
次に、前回値を表示します。

- 「Lo℃」を表示したらわきの下へ挟みます。
わきの下のくぼみの中心部へ測温部があたるように斜め下方向（30～45°）から少し押し上げるように体温計を挟み、わきをしっかりしめてください。
- 体温を測定します。
「Lo℃」から「32℃」に表示が変わり、約10秒で予測検温が終了します。
「P」マークと共に表示します。
そのまま検温を続けますと、約1分20秒後に実測検温に切り変わります。
※実測検温に切り替わると、「P」マークは消灯します。
実測検温では、約5分40秒後「ピー、ピー…」と9回ブザーが鳴りますが、そのまま検温を続けていただき、約10分後の表示値を読み取ってください。

※正確な実測検温のためにには約10分の検温を推奨します。

その後、約12分30秒後に「ピツ」と1回音が鳴り、そのまま消灯します。

④検温後は、測温部を消毒用アルコールまたはぬるま湯等をしみ込ませしっかりと絞った布等で拭き取り、常に清潔にして収納ケースに戻し保管ください。

【使用上の注意】

- 汗をかいていると実際より、低い体温を示すことがあるため、汗を拭き取ってから検温すること。
- 修理、改造、分解は絶対に行わないこと。
- 超音波洗浄はしないでください。[故障の原因になる。]

- 使用の前後に必ず本器を洗浄すること。
- お子様にご使用の際は、先端の測温部で目を突いたり、電池を誤飲しないよう保護者の監視下で使用すること。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談すること。
- 小さなお子様の場合は、腕の外側から優しく押さえて、体温計が動かないよう気を付けること。
- 水中に放置したり、水道からの流水に直接あてないこと。[故障の原因になる。]
- 本器が冷えている場合、本器を室温に十分なじませてから検温すること。

・測温部の先端で目を突かないように注意すること。[失明の恐れがあります。]

・起床、入浴、運動、飲食直後等は、体温が上がっているので、30分以上上時間をあけてから検温をすること。

・周囲温度が32℃を超えている場合は、測温部が温まり「Lo℃」を再度、検温すること。[正しく計測できないおそれがある]

- 強くたたいたり、落したりしないこと。[故障の原因になる。]
- 火気の近くには絶対に置かないこと。[変形や火災の恐れがあります。]

【保管方法及び有効期間等】

（保管方法）

- 次のようなところに保管しないこと。
 - 高温・多湿、直射日光、ほこり、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
 - 傾斜、振動、重圧、衝撃（運動時を含む）のあるところ。
 - 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。
 - お子様の手が届く場所。
- 保管環境条件：-20～+60℃、30～95%RH（結露なきこと）
- （耐用期間）
 標準的な使用期間の目安：5年
 （自己認証（VEGA社データ）による）

【保守・点検に係る事項】

- 測温部先端を消毒する場合は、消毒用アルコールを含ませたガーゼ、布等で軽く拭き取ること。
- その他の本体は、消毒用アルコールで拭き取ると変色する場合がありますので拭かないこと。
- 本器は、水、ぬるま湯をしみ込ませしっかりと絞った布または乾拭き等で水気を拭き取り、清掃後に収納ケースへ収め保管すること。
- 測温部の熱湯消毒や揮発性の液（ソナー等）でのお手入れはしないこと。
- 長期間使用しない場合は、電池は取り外して保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

（製造販売業者）
業者名：株式会社 I C S T
TEL：048-857-8026

（外国製造業者）
業者名：VEGA TECHNOLOGIES INC.
国 名：中華人民共和国

取扱説明書を必ずご参照ください。

本製品は、医用電気機器の安全使用のために要求されているEMC（電磁両立性）規格、JIS T 0601-1-2：2018に適合しています。

お使いいただく際は、本製品に付属の医療機器添付文書及び取扱説明書をよく読んでお使いください。

EMC 技術資料
電子体温計 DT-701

2024年2月初版

EMC（電磁両立性）とは

EMC（電磁両立性）とは、次の二つの事項を満たす能力のことです。

- 周知の他の電子機器に妨害できない態様を与えるようなノイズを出さない（エミッション）
- 周知の他の電子機器から出されるノイズを、使用される機器の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）
- JIS T 0601-1-2に代表される EMC 規格は、医用電気機器を安全に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に干渉を及ぼさない（エミッション）
- 規格は、JIS T 6680（2018）を参照ください。）

EMC（電磁両立性）に関する技術的な説明

医用電気機器は、EMCに關して特別な注意を必要とし、次に記載するEMCの情報を従って使用する必要があります。

- 本機器は電磁両立性（EMC）に関して、特別な注意が必要であり、本製品に記載されたEMC情報は、必ずご参照ください。
- 携帯及び移動無線局（RF）通信機器により本機器は影響を受け、重たな状態で使用しないでください。
- 本機器は、他の機器に干渉させたり、重たな状態で使用しないでください。

表 1－ ガイダンス及び製造業者による宣言－ 電磁エミッション	ガイダンス及び製造業者による宣言－ 電磁エミッション	電磁環境－ 指針
本製品は、次に指定した電磁環境内での使用を意図しています。本製品の顧客又は使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。	EMCタイプ/規格	適合性
	RF エミッション/GSPRI1	グループ1
	RF エミッション/GISPR11	クラスB
	高周波エミッション/IEC61000-3-2	非適用
	電圧変動/フリッキング	非適用
	IEC61000-3-3	非適用
		本製品は、内部構造のためにそのRFエミッションは常に低く、近隣の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
		本製品は、下記を含むすべての用途での使用に適する。 <家庭用無線、及び家庭用に使用される建物に電力を供給する公共の低電圧用の配電網に直接接続された施設。>

表 2－ ガイダンス及び製造業者による宣言－ 電磁イミュニティ	ガイダンス及び製造業者による宣言－ 電磁イミュニティ	電磁環境－ ガイダンス
本製品は、次に指定した電磁環境内での使用を意図しています。本製品の顧客又は使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。	イミュニティ/規格	適合レベル
	JIS T 0601 試験レベル	適合レベル
	サージ JIS C 61000-4-5	±1kV ライン-ライン間 ±2kV ライン-設備間
	電源ノイズレベルでの電圧ノイズ/短時間停電及び瞬断変動 JIS C 61000-4-11	0kV/T (サージ) 70kV/T (25 / 30 サージ) 0kV/T (250 / 300 サージ)
	電源周波数 (50 / 60 Hz) 磁界 JIS C 61000-4-8	±2kV 電源-ライン ±1kV 入出力ライン
		非適用
		非適用
		床は木材、コンクリート又はセラミック、コンクリートであることが望ましい、床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は少なくとも30％であることが望ましい。
		電源周波数磁界は、一種類的な商用又は無線環境における絶的な場所と同レベルの特性を有することが望ましい。

表 3－ ガイダンス及び製造業者による宣言－ 電磁イミュニティ	ガイダンス及び製造業者による宣言－ 電磁イミュニティ	電磁環境－ ガイダンス
本製品は、次に指定した電磁環境内での使用を意図しています。本製品の顧客又は使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認してください。	イミュニティ/試験	適合レベル
	JIS T 0601 試験レベル	適合レベル
	伝導 RF JIS C 61000-4-6	3Vrms (150 MHz～80 MHz) 6Vrms (150 MHz～80 MHz 線帯域)
	放射 RF JIS C 61000-4-3	10 V / m(80 MHz～27 GHz)
		携帯形及び移動形 RF 通信機器は、本製品のいかなる部分に対しても、送受信の周波数に該当する方式から計算した推奨分離距離より近づくで使用しないでください。
		電磁両立性試験は、一種類的な商用又は無線環境における絶的な場所と同レベルの特性を有することが望ましい。
		電磁両立性試験は、一種類的な商用又は無線環境における絶的な場所と同レベルの特性を有することが望ましい。
		次の記号が表示されている機器の近傍では干渉が生じることがあります。

注記 1 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い周波数範囲を適用する。
注記 2 これらの指針は、すべての状況に対して適用するのではない。建築物や人からの吸収及び反射は、電磁波の伝播に影響する。

注 a) 例えば無線（携帯/コードレス）電話及び有線移動無線の基地局、アマチュア無線、AM-FM ラジオ放送及び TV 放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に理論的に予測することはできません。
注 b) 本製品が使用される場所の正確な電界強度が、適用される RF 適合レベルを超える場合、正常な動作を検証するために、本製品を監視すること、異常な動作が発生された場合、追加の手段、例えば、本製品の向き又は場所を変えることが必要となる場合があります。
注 c) 周波数範囲 150 MHz ～ 80 MHz で、電磁界強度は 3V / m 未満であることが望ましい。

表 4－ 携帯形及び移動形 RF 通信機器と本製品との間の推奨分離距離

本製品は、放射 RF 妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。本製品の顧客又は使用者は、通信機器の最大出力に基づいて推奨している携帯形及び移動形 RF 通信機器（送信機）と本製品との間の最小距離を維持することで、電磁障害を抑制するために役立ちます。

送信機の最大定格出力電力 (W)	送信機の周波数に基く分離距離 (m)	
	150 kHz～80 MHz (3 Vrms, 6 Vrms)	80 MHz～800 MHz (d = 1.2k P)
0.01	非適用	0.23
0.1	非適用	0.38
1	非適用	1.2
10	非適用	3.8
100	非適用	12
		23

上記にリストされていない最大定格出力電力の送信機に対しては、メートル (m) で表した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。
ここで、P は、送信機製造業者によって提供された送信機の最大定格出力電力である。
注記 1 80 MHz 及び 800 MHz においては、分離距離は、高い周波数範囲を適用する。
注記 2 これらの指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物や人からの吸収及び反射は、電磁波の伝播に影響する。

表 5－ ガイダンス及び製造業者による宣言－ 電磁イミュニティ	ガイダンス及び製造業者による宣言－ 電磁イミュニティ
本製品は次に指定した電磁環境内の使用を意図している。本製品の顧客又は使用者は、このような環境内で使用されることを確認すること。	

試験周波数 (MHz)	周波数 (MHz)	サージ (a)	変調 (b)	最大電力 (W)	距離 (m)	試験レベル (V / m)
385	380-390	TETRA 400	F/V/U 変調 (b)	1.8	0.3	27
450	430-470	GMS 480, FR8 480	FM (c) ±0.5 kHz 幅差 1 kHz 正弦波	2	0.3	28
710	704-787	LTE 帯域 13.17	F/V/U 変調 (b)	0.2	0.3	9
780		GSM 800 / 900	F/V/U 変調 (b)	2	0.3	28
810	800-960	TETRA 800, iDEN 800	F/V/U 変調 (b)	18 Hz	0.3	28
870	850-960	CDMA 850	F/V/U 変調 (b)	2	0.3	28
930		LTE 帯域 5	F/V/U 変調 (b)	2	0.3	28
無線通らの近傍電磁界	1720-1845	GSM 1800 GSM 1900 DECT	F/V/U 変調 (b)	2	0.3	28
JIS C 61000-4-3	1970	LTE 帯域 1, 3, 4, 25 UMS	F/V/U 変調 (b)	2	0.3	28
	2450	Bluetooth WLAN 802.11 b / n	F/V/U 変調 (b)	2	0.3	28
	5240	RFID 2450	F/V/U 変調 (b)	2	0.3	28
	5900	RFID 5900	F/V/U 変調 (b)	2	0.3	28
	5785	WLAN802.11 a / n	F/V/U 変調 (b)	2	0.3	28

備考：
a) イミュニティ試験レベルを達成するために必要な場合には、送信アンテナと本製品との間の距離を 1m にしてよい。
b) 「ワット」は周波数だけが含まれる。
c) 搬送波は、60アンテナアンテナ指向形を使用しないでください。
d) FM 周波数の切り捨ては、18 Hz での 50V / m の電界強度を用いてください。
e) 本製品の実際の距離を要すわけではないが、簡易的な考え方が示されている。